

1970~1971

八田ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1970. 10. 8.



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡げていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1970～71年度

国際ロータリー会長のメッセージ

BRIDGE THE GAPS

o between people

o between nations

o between man and his environment

隔りを取り除こう!!

- o 人と人との間の隔りを取り除くこと
- o 諸国間の隔りを取り除くこと
- o 人とその生活環境の不均衡を是正すること

国際ロータリー会長

ウィリアム E. ウォーク Jr

目 次

クラブ協議会プログラム.....	1 頁
役員並びに委員名簿.....	2
会長報告.....	3
幹事報告.....	3
会計報告.....	5
クラブサービス報告.....	5
出席奨励委員会報告.....	6
職業分類委員会報告.....	7
会員選考委員会報告.....	8
会員推薦委員会報告.....	9
プログラム委員会報告.....	9
広報委員会報告.....	11
親睦委員会報告.....	12
ロータリー情報委員会報告.....	12
会報・雑誌委員会報告.....	13
S・A・A 報告.....	14
職業奉仕委員会報告.....	14
社会奉仕委員会報告.....	15
青少年奉仕委員会報告.....	16
国際奉仕委員会報告.....	16
ロータリー財団委員会報告.....	17

附 表

昭和45年度予算書

会 員 名 簿

職 業 分 類 一 覧 表 (別 冊)

第一編 緒論 (附 目錄)

第一章 緒論

第二章 緒論

第三章 緒論

第一章 緒論	13
第二章 緒論	14
第三章 緒論	15
第四章 緒論	16
第五章 緒論	17
第六章 緒論	18
第七章 緒論	19
第八章 緒論	20
第九章 緒論	21
第十章 緒論	22
第十一章 緒論	23
第十二章 緒論	24
第十三章 緒論	25
第十四章 緒論	26
第十五章 緒論	27
第十六章 緒論	28
第十七章 緒論	29
第十八章 緒論	30
第十九章 緒論	31
第二十章 緒論	32
第二十一章 緒論	33
第二十二章 緒論	34
第二十三章 緒論	35
第二十四章 緒論	36
第二十五章 緒論	37
第二十六章 緒論	38
第二十七章 緒論	39
第二十八章 緒論	40
第二十九章 緒論	41
第三十章 緒論	42
第三十一章 緒論	43
第三十二章 緒論	44
第三十三章 緒論	45
第三十四章 緒論	46
第三十五章 緒論	47
第三十六章 緒論	48
第三十七章 緒論	49
第三十八章 緒論	50
第三十九章 緒論	51
第四十章 緒論	52
第四十一章 緒論	53
第四十二章 緒論	54
第四十三章 緒論	55
第四十四章 緒論	56
第四十五章 緒論	57
第四十六章 緒論	58
第四十七章 緒論	59
第四十八章 緒論	60
第四十九章 緒論	61
第五十章 緒論	62
第五十一章 緒論	63
第五十二章 緒論	64
第五十三章 緒論	65
第五十四章 緒論	66
第五十五章 緒論	67
第五十六章 緒論	68
第五十七章 緒論	69
第五十八章 緒論	70
第五十九章 緒論	71
第六十章 緒論	72
第六十一章 緒論	73
第六十二章 緒論	74
第六十三章 緒論	75
第六十四章 緒論	76
第六十五章 緒論	77
第六十六章 緒論	78
第六十七章 緒論	79
第六十八章 緒論	80
第六十九章 緒論	81
第七十章 緒論	82
第七十一章 緒論	83
第七十二章 緒論	84
第七十三章 緒論	85
第七十四章 緒論	86
第七十五章 緒論	87
第七十六章 緒論	88
第七十七章 緒論	89
第七十八章 緒論	90
第七十九章 緒論	91
第八十章 緒論	92
第八十一章 緒論	93
第八十二章 緒論	94
第八十三章 緒論	95
第八十四章 緒論	96
第八十五章 緒論	97
第八十六章 緒論	98
第八十七章 緒論	99
第八十八章 緒論	100
第八十九章 緒論	101
第九十章 緒論	102
第九十一章 緒論	103
第九十二章 緒論	104
第九十三章 緒論	105
第九十四章 緒論	106
第九十五章 緒論	107
第九十六章 緒論	108
第九十七章 緒論	109
第九十八章 緒論	110
第九十九章 緒論	111
第一百章 緒論	112

クラブ協議会プログラム

1970・10・7

於 鶴 鳴 館

17:00~17:01	開 会 の 辞	副 会 長	西 郷 隆 永
17:01~17:04	ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱		
17:04~17:10	歓迎の辞及びガバナー紹介	会 長	久保田 彦 穂
17:10~17:15	ガバナー挨拶	ガバナー	八 田 秋
17:15~17:25	会 員 自 己 紹 介		
17:25~	会 長 報 告	会 長	久保田 彦 穂
	幹 事 報 告	幹 事	久 保 政 次
	会 計 報 告	会 計	倉 園 清 市
	クラブサービス報告	会 務 担 当	西 郷 隆 永
	出席奨励委員会報告	委 員 長	鮫 島 志 芽 太
	職業分類委員会報告	"	牧 田 健 二
	会員選考委員会報告	"	増 竹 成 紀
	会員推薦委員会報告	"	高 田 光 義
	プログラム委員会報告	"	藤 安 辰 造
	広報委員会報告	"	川 上 鉄 太 郎
	親睦委員会報告	"	島 津 忠 丸
	ロータリー情報委員会報告	"	川 村 洋
	会報・雑誌委員会報告	"	柴 山 一 雄
	S・A・A 報 告	S・A・A	外 西 寿 彦
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	林 幸 光
	社会奉仕委員会報告	"	浜 田 肇
	青少年奉仕委員会報告	"	光 吉 正 昭
	国際奉仕委員会報告	"	春 山 ジャスティン
	講 評	ガバナー	八 田 秋
19:00	閉 会 の 辞	幹 事	久 保 政 次
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング(手に手つないで)斉唱		

圖書分類法

000	總論	001	圖書館學	002	圖書館史	003	圖書館行政	004	圖書館教育	005	圖書館經濟	006	圖書館法律	007	圖書館國際合作	008	圖書館其他		
100	哲學	110	形而上學	120	神學	130	倫理學	140	心理學	150	社會學	160	政治學	170	經濟學	180	法律學	190	史學
200	宗教	210	基督教	220	天主教	230	新教	240	佛教	250	伊斯蘭教	260	印度教	270	錫克教	280	其他宗教	290	宗教史
300	科學	310	天文学	320	地質學	330	地理學	340	物理學	350	化學	360	生物學	370	醫學	380	農學	390	其他科學
400	藝術	410	音樂	420	戲劇	430	舞蹈	440	繪畫	450	攝影	460	建築	470	園林	480	其他藝術	490	藝術史
500	文學	510	詩歌	520	小說	530	戲劇文學	540	散文	550	其他文學	560	文學史	570	文學理論	580	文學批評	590	其他文學
600	語言	610	普通語言學	620	歷史語言學	630	比較語言學	640	語言學其他	650	語言學史	660	語言學理論	670	語言學批評	680	其他語言	690	其他語言
700	教育	710	教育學	720	教育史	730	教育行政	740	教育心理學	750	教育經濟學	760	教育法律	770	教育國際合作	780	教育其他	790	教育史
800	社會科學	810	社會學	820	社會學史	830	社會學行政	840	社會學心理學	850	社會學經濟學	860	社會學法律	870	社會學國際合作	880	社會學其他	890	社會學史
900	其他	910	其他	920	其他	930	其他	940	其他	950	其他	960	其他	970	其他	980	其他	990	其他

圖書分類法

圖書分類法

鹿児島西ロータリークラブ役員・委員会名簿

1970-7~1971-6

会 長 (理事)	久保田 彦 穂
副 会 長 (")	西 郷 隆 永
幹 事	久 保 政 次
副 幹 事	田 平 礼 章
理 事	林 幸 光
"	浜 田 馨
"	光 吉 正 昭
"	春 山 ジャスティン
"	倉 園 清 市
S . A . A	外 西 寿 彦
副 S . A . A	桜 美 義 明

出 席 奨 励	○鮫島	○高井	高綱	平原	
取 業 分 類	○牧田	○小池	佐伯	有蘭	
会 員 選 考	○増竹	○河井	森川	土谷	
会 員 推 薦	○高田	○若松 (新)	岩田	荻野	
プ ロ グ ラ ム	○藤安	○小山	岩元 (健)	永田	山口
広 報	○川上	○安楽	米倉		
親 睦	○島津	○岩元 (基)	三角	中山	下野 小園 新福 (均)
ロ ー タ リ ー 情 報	○川村	○福田	池田 (広)	徳田	
会 報 ・ 雑 誌	○柴山	○岩元 (正)	池田 (稔)	新福 (栄)	
職 業 奉 仕	○林	○川路	塘	瀬上	
社 会 奉 仕	○浜田	○岡山	土橋	若松 (宇)	
青 少 年 奉 仕	} ○光吉	○高	中村	渡辺	
イ ン タ ー ア ク ト		○岡元	桜美 (四)	竹之内	
ロ ー タ リ ー ア ク ト	○春山	△ 岡元			
国 際 奉 仕	○西郷	○福田	川上	柴山	浜田 藤安
ロ ー タ リ ー 賞 推 薦					

○ - 委員長 ○ - 副委員長 △ - ロータリー財団委員長

Table 1: Comparison of experimental results with theoretical values

Item	Exp. Result	Theory	Deviation	Relative Error
1. Maximum Value	0.85	0.80	0.05	6.25%
2. Minimum Value	0.15	0.20	-0.05	-25%
3. Average Value	0.50	0.50	0.00	0%
4. Standard Deviation	0.25	0.25	0.00	0%
5. Correlation Coefficient	0.90	0.85	0.05	5.88%
6. Phase Shift	0.30	0.30	0.00	0%
7. Frequency Response	0.70	0.70	0.00	0%
8. Bandwidth	0.40	0.40	0.00	0%
9. Signal-to-Noise Ratio	15.0	15.0	0.0	0%
10. Dynamic Range	20.0	20.0	0.0	0%
11. Total Harmonic Distortion	0.05	0.05	0.00	0%
12. Intermodulation Distortion	0.02	0.02	0.00	0%
13. Spurious Emissions	0.01	0.01	0.00	0%
14. Power Spectral Density	0.001	0.001	0.000	0%
15. Noise Floor	-100	-100	0	0%

Parameter	Value	Unit
Amplitude	0.85	V
Frequency	1000	Hz
Phase	0	deg
Bandwidth	20	kHz
SNR	15	dB
THD	0.05	%
IMD	0.02	%
Spurious	0.01	dBm
PSD	0.001	W/Hz
Noise Floor	-100	dBm

1980-10-10

Electronics Engineering Department, University of Science and Technology

会 長 報 告

会 長 久 保 田 彦 穂

発足以来、満七年半に当る当クラブに、本日、本年度のガバナーの公式訪問をお迎えし、全員協議会を持ち得ましたことは喜びに堪えない次第でございます。

当クラブは、年々着実に会員も増え、また会員相互の親睦、社会への奉仕、自覚のもとに進んで例会への参加という点におきましても、相当な成績を挙げております。これは先輩諸氏のたえざる努力のたまものと存じます。

優れた先輩諸氏のあとを受けついで非力ながら、当クラブの伝統を守りぬきたいと決意している次第でございます。

第一に、本年の活動方針は「隔りを取り除く」ことであります。このことを会員相互の語りによつて可能ならしめたいと思つております。実行は会長自らなさねばならぬことであるので、会長は、例会毎に、一分間をとつて、会員諸君に語りかけたいと思つております。

第二に、量は力であり、質に通ずと確信いたしておりますので、本年度の理想達成のためにも、よき会員を増やすことも大切なものであると存じます。この方面の努力もしたいと考えております。

第三に、例会に参加するということは、とりもなおさず、会員間の隔りをのぞく基本的なことであると存じます。このことにも力をそそぎたいと考えております。

以上三点を重点的に考えて、本年度の理想に近づきたいと考えている次第でございます。

幹 事 報 告

幹 事 久 保 政 次

当クラブも愈々八年目を迎え知的で且つ暖い雰囲気のあるクラブとしてその友愛に満ちた奉仕活動もすつかり軌道に乗り堅実な歩みを続けて居ります事は真に喜びに堪えません。併し乍ら、一方では又マンネリ化の危険も孕んでいると思ひます。私共会員はここで再びロータリー本来の精神に立ち返り自らの足元をみつめてみる必要もあると思ひます。

R. I. 会長の本年度のメッセージ「隔りを取り除こう」を旗じるしに総ゆる隔り乗り越え各種の奉仕活動に斬新なアイデアを打ち出して行き度いものです。

ク ラ ブ 概 況

1. 創 立 年 月 日	昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日
2. 承 認 年 月 日	昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日
3. チャーターメンバー	2 5 名 (内 現 会 員 1 5 名)
4. 本 年 度 当 初 会 員 数	6 1 名 退 会 者 3 名 入 会 者 4 名
5. 現 在 会 員 数	正 会 員 5 6 名 シニア・アクティブ会員 5 名 パスト・サービス会員 1 名 計 6 2 名
6. 平 均 年 齢	5 2.6 才 最高 7 4 才 最低 2 5 才 2 0 才 台 1 名 3 0 才 台 8 名 4 0 才 台 1 3 名 5 0 才 台 2 2 名 6 0 才 台 1 6 名 7 0 才 台 2 名
7. 出 席 率	9 8.8 3 % (4 4. 9 ~ 4 5. 8)
8. 予 算	末 尾 の 通 り
9. 入 会 金	1 5,0 0 0 円
1 0. 年 会 費	5 6,0 0 0 円
1 1. ビジター会費	5 0 0 円
1 2. 会 報	週 報 を 毎 週 発 行
1 3. ロータリアン誌	4 名 講 説
1 4. クラブアッセンブリー	2 回 (あと 3 回 以 上 開 催 予 定)
1 5. クラブフォーラム	4 回 開 催 予 定
1 6. 炉 辺 会 合	1 回 (あと 数 回 開 催 予 定)
1 7. 理 事 会	定 時 理 事 会 毎 月 第 2 週 例 会 日 に 開 催 臨 時 理 事 会 必 要 に 応 じ 適 時 開 催
1 8. 県 下 R・C 会 長 幹 事 会	年 2 回 輪 番 で 開 催 お 互 い に 意 見 の 交 換 を 行 っ て い る。

附錄二：各系圖書室圖書分類表

1. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
2. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
3. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
4. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
5. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
6. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
7. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
8. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
9. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
10. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
11. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
12. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
13. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
14. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
15. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
16. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
17. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
18. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
19. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
20. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
21. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
22. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
23. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
24. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
25. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
26. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
27. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
28. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
29. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
30. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
31. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
32. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
33. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
34. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
35. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
36. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
37. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
38. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
39. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
40. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
41. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
42. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
43. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
44. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
45. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
46. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
47. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
48. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法
49. 中文圖書	分類法	中文圖書分類法
50. 西文圖書	分類法	杜威十進位分類法

会 計 報 告

会 計 倉 園 清 市

基本方針

クラブの財産及び資金を確実に保管し、その収支状況を常時明らかにしておくとともに、各委員会活動が円滑に執り行なわれるに足る財務状態に常に在るように努めたい。

計 画

必要ある毎に理事会に財務事情を報告し、クラブ活動全般の推進に支障なきを期したい。

業 績

不測の予算外支出等をも含めて既定の会費収入の範囲内でなるべく賄いたいという考え方で年度初め以来今日迄進めてきた。

ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告

会 務 担 当 西 郷 隆 永

基本方針

クラブ奉仕の任務は、クラブ奉仕の各委員会の効果的な活動につき、側面から助言し、支援することにあります。

先般の地区大会で示された (1)「会員の増強」 (2)「例会と出席の改善」の二つの重点目標につき、奉仕員係の各委員長と協力して達成したい。

計 画

上記の基本方針に従い、随時、奉仕関係の委員長会を本年度も受継いで催したい。

業 績

年度計画表を幹事と協議の上作製して各委員長に配布し(委員長会開催)クラブ全体の計画を統一的に且つ円滑に遂行出来るようにした。

出席奨励委員会報告

委員長 鮫 島 志芽太
委員 高 井 敏 治
 , 高 綱 博 明
 , 平 原 定 一郎

基本方針

- 出席100%確保
- 各種会合への出席奨励
- メーカーツブの励行

計 画

1. 基本方針を達成するため、会長、幹事の指導の下に会員全員が協力できるようにしたい。このため各委員会あるいは、各友人同志で出席を誘いましょう。
2. 出席表彰費を増やしたい。
3. クラブとして各種会合へ出席しやすい体制を研究したい。
4. クラブ員の同伴ゲストを奨励したい。
5. 御家族へ出席協力を働きかけたい。

昨年度出席奨励委員会で作つて会員皆さんにお渡してある「卓上出席奨励標語」を、ぜひ机の上に飾つて、木曜日の出席日を、自分へも、人にも再確認させましょう。

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	マーク アップ	出席 訂正率	ゲスト	ビジター
368	4.5.7	261	52	9	85.25	7	96.72	2	7
369	9	61	42	19	68.85	18	98.36	0	16
370	16	61	49	12	80.33	11	98.36	1	11
371	23	61	39	22	63.93	21	98.36	1	19
372	30	61	46	15	75.41	14	98.36	1	20
373	8.6	60	38	22	63.33	22	100	1	21
374	13	58	47	11	81.03	11	100	1	24
375	20	58	45	13	77.59	13	100	0	22
376	27	58	48	10	82.76	10	100	3	26
377	9.3	58	46	12	79.31	10	96.55	1	21
378	10	61	48	13	78.69	12	98.36	1	17
379	17	61	51	10	83.61	9	98.36	1	24
12回	計	719	551	168	920.09	158	1,183.43	13	228
	平均	60	46	14	76.67	13	98.62	1	19

職業分類委員会報告

委員長 牧 田 健 二

委 員 小 池 鉄 太 郎

・ 佐 伯 延 次 郎

・ 有 蘭 敷 男

基本方針

1. 当クラブ区域の職業分類調査を行なう。
2. 充填、および未充填の職業分類一覧表を作成する。
3. 未充填部門については、当クラブ全会員に協力を求め、その充填を図る。

計画及び業績

1. 当クラブ区域のいろいろな事業所および専門的職業を調査すると共に、区域外に事業所を有しても、その居住所が区域内にある人々の職業分類についても調査する。
2. 充填および未充填の職業分類一覧表は、クラブ全会員に配布し、未充填部門について十分に認識してもらう。

3. 未充填部門については、¹全会員は勿論、特に会員推薦委員会に全面的協力を求め、各関連職業群（大分類）10%以内における充填に努めたい。
4. 必要に応じ委員会を開き、未充填部門一覧表を常時公開し、その充填に努めたい。

会員選考委員会報告

委員長 増 竹 成 紀
委員 河 井 時 義
" 森 川 盛 満
" 土 谷 久 雄

基本方針

クラブ拡大の意義がロータリーの本質である 奉仕の実践をあらゆる機会、あらゆる地域に普及することにある故に、当クラブもあらゆる分野に涉り、よい資質と資格を備えたやる気のある会員の増強を推進しクラブの繁栄に資したい。

計 画

以上の方針達成のため

1. クラブ全会員のご協力は勿論であるが、特に職業分類、会員推薦、両委員会との連絡を密にしたい。
2. 会員の選考に当つては出来得る限り委員会を開き被推薦者の資格、品性、その人となり重点を置き厳正に選考する。
3. 調査判定の結果を可及的迅速、且つ適確に理事会に報告する。

実 績

会員推薦委員会より報告の通り。

会員推薦委員会報告

委員長 高田光義
委員 若松新一
" 岩田太一
" 荻野貞二

基本方針

当年度当初の会員数は61名であつた。之を67名に迄増員するべく尙減員を見込み本年度は10名程度の新入会員を目標としている。

計 画

例会毎に会員に当り広く候補者の推薦を求めている。理事会、職業分類、会員選考委員会と連絡を密にして適格の決定を迅速にして所期の会員数の増強を完遂する。

業 績

本年度に入り4名の新入会、3名の退会があり差引き1名の増員となつている。

プログラム委員会報告

委員長 藤安辰造
委員 小山幸義
" 岩元健吉
" 永田良司
" 山口清次

基本方針

ロータリークラブにふさわしい品位のある親和感のある卓話が出来る様に努め会員及びビジターが例会に出席した価値を見出される様なプログラムを編成することを基本方針とし、又個々の編成内容はバランスとバラエティを考えて行ひ。之がためには全会員との連絡を密にして卓話の開発を図る。

計 画

1. 例会の卓話はゲスト50%、会員25%、映画25%で進める。

2. 予定された例会より少なくとも1ヶ月前には卓話者がきまる様計画する。

業 績

下記実施表の通りである。

卓話の実績状況

月 日	グ ス ト 卓 話			会 員 卓 話
	題 目	職 業	氏 名	
4. 5.				委員会活動方針発表 会長・幹事就任挨拶
7. 2				クラブ協議会
9				
16	新生アフリカと鹿児島	鉄道労働科学研究所 人間工学室長	飯山 雄次	
23	鹿児島県開発の方向	鹿児島県 企画部長	山之口安秀	
30	スタミナ	南日本芸術学園 事務局長	崎間 トヨ	
8. 6				フアイヤサイドミーティング
13	私の見たアメリカ	ライオンズクラブ 三〇二地区 W七 ガバナー	谷川 栄一	
20				クラブフォーラム (国際奉仕部門)
27	帰国交換学生挨拶		清川美保子 大段 博美 島名 麗子	
9. 3	聴覚障害児童生徒の 教育について	県立ろう学校 校 長	上大園 博	
10	スライド 郷土玩具をたづねて	鹿児島銀行提供		
17				観月家族会
24				クラブ協議会

広報委員会報告

委員長 川上 鉄太郎

委員 安楽 慶一郎

・ 米倉 秀雄

基本方針

ロータリーの歴史、綱領及び規模、当クラブのプログラム及び活動状況について、当クラブ会員個人を通じて、また、報道機関を通じて、積極的に広く社会に公開伝達して、ロータリークラブに対する認識をもつてもらうための計画を立案し実行する。

計 画

1. 新年度会長の方針と抱負を広報
2. マスコミ関係者にクラブ活動、職業奉仕、社会奉仕及び国際奉仕活動に関する情報を提供する。
3. 西ロータリー賞受賞者の広報
4. インターアクト、ローターアクト、クラブの活動情報の広報
5. マスコミ関係者の例会出席と座談会の実施
6. 鹿児島4クラブ合同広報活動
7. 上記のほか、基本方針を達成するための一切の情報の広報

業 績

1. 新役員名簿を南日本紙、鹿新報紙に記事として掲載してもらった。
2. 会員に対する本年度R I会長メッセージ徹底のため広報用に「隔りを取り除こう」の掲示板を作成し毎例会に掲げている。

親睦委員会報告

委員長	島津忠丸
委員	岩元基
"	下野隆三
"	中山和春
"	小園正人
"	新福均
"	三角桂次郎

基本方針

会員相互は勿論の事、その家族を含めてクラブの懇親を深めると共に、他クラブとの親睦を深め、ロータリーの活動をより活発に推進したい。

計 画

今までに行なわれて来た観月会、クリスマスパーティー、その他会員相互に親睦を深める行事の外に、他クラブとの交歓の機会をも考えている。(本年度のクリスマス家族会を加治木クラブと合同でやる様計画して居る)

実 績

9月17日(木)城山観光ホテルにて観月家族会を開催し、会員家族103名の参加を得て盛大に終了した。

ロータリー情報委員会報告

委員長	川村洋
委員	福田敏之
"	池田広
"	徳田基

基本方針

1. 新入会員にロータリアンとしての特典義務を理解させる。
2. 会員にロータリーその歴史綱領及び活動についての知識を与える。

3. 会員に国際ロータリーの運営方法の発達について知らせる。

計 画

1. 新入会員の個別指導
2. 新入会員を各委員会の炉辺会合に招待
3. ロータリー関係の情報を週報に記載
4. 例会での3分間インフォメーション
5. 文献資料の整備

業 績

1. ロータリー関係情報を週報に記載
2. 新入会員の個別指導

会報・雑誌委員会報告

委員長 柴 山 一 雄

委 員 岩 元 正 二

” 池 田 稔

” 新 福 栄 熊

基本方針

1. 次の例会のプログラムを発表
2. 前の例会の主要事項を説明
3. 親睦を増進
4. 全会員のロータリー教育（ロータリー情報）
5. クラブ会員のニュース
6. 世界的ロータリー計画に関するニュース

計 画

1. ロータリー計画，ロータリーの奉仕の理想に関する記事をのせること。
2. クラブの各委員の記事をのせること。
3. 前例会のプログラムの記事をのせること。
4. ロータリーの尊厳を傷つける事項は一切のせないこと。
5. ロータリアンが会報に興味深くなるように計画する。
6. 欠席した会員には送付してでも各人にとどける。

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

【解説】

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

【参考文献】

著	著	著	著	著
著	著	著	著	著
著	著	著	著	著
著	著	著	著	著
著	著	著	著	著

【参考文献】

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

【解説】

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

【参考文献】

「このように、お尋ねは、お尋ねの通りです。」

業 績

計画通りに忠実に実行している。

S・A・A 報 告

S・A・A 外 西 寿 彦

副S・A・A 桜 美 義 明

基本方針並に計画

1. 例会の雰囲気明るくなどやかなものにし、訪問者によい印象をあたえるよう、座席の配置を工夫したり、ロータリーソング以外の歌を選ぶ等努力したい。
2. 親睦委員会と連絡を保ちながら、ニコニコBOXの増収をはかり、会員相互の理解と親睦を深めるよう努力したい。

業 績

- 本年度に入りテーブルの配置を変えビジター並に会員相互の融和が一層促進される様工夫した。
- 例会の座席別を原則的に下記の通りにして実施している。

第一週は 委員会別

第二週は 組別(適宜組合せる)

第三週は 趣味別

第四週は 自由席

職業奉仕委員会報告

委員長 林 幸 光

委 員 川 路 清 高

・ 塘 一 郎

・ 瀬 上 一 郎

基本方針

毎年続けられている活動方針をさらに活発に推進したい。

計 画

1. 職場訪問
2. 高校生との話し合い
3. 優良職業人の表彰
4. 中小企業との懇談会

社会奉仕委員会報告

委員長 浜 田 馨

委 員 岡 山 栄

・ 土 橋 英 夫

・ 若 松 宇 治 彦

基本方針

関係諸団体の協力を得て地域社会の切実な要求が何であるかを調査し、当クラブ内の関係委員会と密接な連絡のもとに手近かな事から実行したい。

計 画

1. 非行少年の補導活動への援助
2. 身体障害児童施設への援助
3. ロータリー賞の継続
4. 災害見舞
5. 地域都市の安全運動、美化運動への協力

業 績

1. 県立製学校長を招き卓話をお願いして身体障害児童の実状につき認識を新たにした。
2. 非行少年の補導活動への一助として鹿児島市中学校生徒指導連絡協議会へ金一封を進呈した。

青少年奉仕
インターアクト委員会報告
ローターアクト

委員長 光 吉 正 昭

委員 高 義 朗

・ 中 村 善 治

・ 渡 辺 匡

基本方針

次の世代を背負う青少年との交流をはかり、ロータリーの奉仕の精神を青少年に植えつける様出来る限りの援助をしたい。

計 画

1. インターアクトクラブとの交流援助を推進する。
2. ローターアクトクラブの例会に委員が交替で出席し交流援助を密にする。
3. インターアクト、ローターアクトを通じて青少年との隔りを出来るだけ除く様努力する。

業 績

1. ワンダーフォーゲル運動をスポンサークラブの鹿児島南クラブに協力して推進援助した。
2. 第373区第6回インターアクト年次大会に出席し、インターアクトクラブ活動の実情把握に努めた。

国際奉仕委員会報告

委員長 春 山 ジャステン

委員 岡 元 健一郎

・ 桜 美 四 郎

・ 竹之内 安 己

基本方針

国際理解、親善および平和を増進するために当クラブの全会員の協力と参加を求める。

「...」

...

... 1945年 ...
 ... 1946年 ...
 ... 1947年 ...
 ... 1948年 ...

国語資料集

...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

計 画

1. 交換学生，クリスティン・ラツシーさんをなるべく大勢の会員宅に招いてもらう。
2. 例会に留学生を招待し世界社会理解の一助としたい。
3. その他，国際理解のために色々計画する。

業 績

1. 8月の例会に国際奉仕についてのクラブフォーラムを持ち，ロータリー財団委員長の岡元氏に財団に関して詳しく説明してもらった。
2. 市内の3クラブで合同で米国より交換学生，クリスティン・ラツシーさんを迎えた。
なお，当クラブ会員池田稔氏宅に来年4月より3ヶ月間ホスト・ファミリーになつてもらう。
3. アメリカ717，719地区GSEチーム（研究交換チーム）が当地区に9月下旬来訪するので委員会を開き受け入れ家庭を決めた。

ロータリー財団委員会報告

委員長 岡 元 健一郎

基本方針

1. ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらう。
2. クラブの財団寄附金を増加する。
3. 積極的に補助金候補者を推薦する。

計画と業績

1. 6月21日373地区協議会に参加して財団に関する知識を得た。
2. クラブフォーラムで財団の歴史と活動の趣旨，現状について説明した。
3. 百万ドル食事を年間約3～4回実施する 定である。
4. 国際奉仕委員会と協力して補助金候補者を推薦するよう努力したい。

- 1. 諸君が何を志すか？ (志すものが、何であるか？)
- 2. 志すものが、何であるか？ (志すものが、何であるか？)
- 3. 志すものが、何であるか？ (志すものが、何であるか？)
- 4. 志すものが、何であるか？ (志すものが、何であるか？)

1. 志すものが、何であるか？

2. 志すものが、何であるか？

3. 志すものが、何であるか？

4. 志すものが、何であるか？

1. 志すものが、何であるか？

1. 志すものが、何であるか？

1. 志すものが、何であるか？

2. 志すものが、何であるか？

3. 志すものが、何であるか？

4. 志すものが、何であるか？

5. 志すものが、何であるか？

6. 志すものが、何であるか？

7. 志すものが、何であるか？

8. 志すものが、何であるか？

9. 志すものが、何であるか？

附 表

昭 和 45 年 度 予 算 書

会 員 名 簿

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 一 覽 表

(別 冊)

昭和45年度収支予算書

1970-7 ~ 1971-6

(収入の部)

費 目	予 算 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	67,193	
年 会 費	3,500,000	28,000円×61 28,000円×64
雑 誌 代	82,500	660円×61 660円×64
入 会 金	90,000	15,000円×6
ロータリー財団寄付金 (入会時)	21,600	3,600円×6
ビジター会食費	425,000	500円×450 500円×400
雑 収 入	20,000	預金利息外
合 計	4,206,293	

(支出の部)

費 目	予 算 額	摘 要	
事 務 局 関 係	人 件 費	430,000	事務員給料, 夏期・年末手当
	退職給与引当金	21,500	
	通 信 費	55,000	郵便料, 電話料等
	事 務 用 品 費	20,000	事務用品一切
	印 刷 費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
	厚 生 福 利 費	27,000	健康保険料他
	旅 費	5,000	諸車代
	函 書 費	10,000	新聞代, 全国会員名簿外
借 室 料	72,000	6,000円×12	
小 計	660,500		
委 員 会 関 係	出 席 奨 励	75,000	表彰記念品代
	会 員 選 考	1,000	
	会 員 推 薦	1,000	
	職 業 分 類	8,000	職業分類表印刷代
	親 睦	150,000	誕生祝, 結婚祝, 家族会補助, その他
ブ ロ グ ラ ム	40,000	卓話謝礼	

費 目		予 算 額	備 考
委 員 会 関 係	ロータリー情報	30,000	ガバナー月信, ロータリー手帳, 文献代等
	広 報	5,000	
	会 報・雑 誌	140,000	ロータリーの友, 週報印刷代
	職 業 奉 仕	30,000	優良職業人表彰, 職場訪問費外
	社 会 奉 仕	100,000	表彰関係(ロータリー賞を含む)災害見舞金
	青 少 年 奉 仕	150,000	インターアクト, ローターアクト援助外
	国 際 奉 仕	220,000	交換学生受入負担金, 研究グループ交換資金
	小 計	950,000	
国 際 ロ ー タ リ ー 関 係	人 頭 分 担 金	180,000	1,440円×61 1,440円×64
	ロータリー財団寄付金	90,000	百万ドル食事差額外
	ロータリー財団寄付金 (入会時)	21,600	3,600円×6
	米山記念奨学寄付金	62,500	500円×61 500円×64
	小 計	354,100	
地 区 関 係	地 区 大 会	97,500	分担金
	地 区 協 議 会	120,000	登録料, 旅費, 宿泊費
	地 区 資 金	87,500	700円×61 700円×64
	地 区 青 少 年 資 金	37,500	300円×61 300円×64
	札幌障火台協力金	6,250	50円×61 50円×64
	研究グループ交換資金	30,500	500円×61
	小 計	379,250	
そ の 他	拡 大 事 業 費	30,000	
	会 議 費	75,000	会長, 幹事会登録料, チャーターナイト半額補助
	会 食 費	1,400,000	例会食事代
	雑 費	80,000	前会長, 幹事記念品代, 見舞金その他
	備 品 費	25,000	事務室カーテン新調代外
	地区大会準備資金繰入	200,000	100,000上期 100,000下期
	特 別 基 金	50,000	25,000 " 25,000 "
小 計	1,860,000		
	予 備 費	2,443	
	合 計	4,206,293	

特別基金勘定

(収入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	0	
基金特別負担金	30,000	5,000円×6(新入会員)
一般予算より繰入	50,000	上期25,000 下期25,000
雑収入	2,500	預金利息外
合 計	82,500	

ニコニコ寄付金勘定

(収入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	189,737	
寄付金収入	130,000	
雑収入	2,000	
合 計	321,737	

特別準備金勘定

費 目	予 算 額	摘 要
退職給与引当金	21,500	上期10,000 下期11,500
雑収入	750	預金利息外
小 計	22,250	
地区大会準備資金	200,000	上期100,000 下期100,000
雑収入	7,500	預金利息外
小 計	207,500	
合 計	229,750	

支	出	100000		
支	出	100000		
支	出	100000	1000000	1000000
支	出	100000		
支	出	100000	1000000	1000000
支	出	100000		

現金出納簿

支	出	100000		
支	出	100000		
支	出	100000		
支	出	100000		

(入)

現金出納簿

支	出	100000		
支	出	100000	1000000	1000000
支	出	100000		
支	出	100000	1000000	1000000
支	出	100000		

(入)

現金出納簿

会 員 名 簿

	氏 名	職業分類	勤 務 先		自 宅	
1A	安 楽 慶一郎	焼 酎 製 造	安 楽 酒 造 ㈱	代表取締役	宇宿町 248の1 県酪農ビル内	高麗町615
2	有 蘭 敷 男	相 互 銀 行	㈱旭相互銀行	常務取締役	山下町1の1	田上町 2624の2
3F	福 田 敏 之	民 間 放 送	㈱南日本放送	常務取締役	高麗町17	草牟田町 4195
4	藤 安 辰 造	味 噌 製 造	藤 安 醸 造 ㈱	取締役社長	住吉町6の15	住吉町6の20
5H	林 幸 光	シニア・アクティブ (洋 楽)	鹿児島短期大学	教 授	永吉町450	西田町58の6
6	浜 田 馨	酒 類 配 布	㈱浜田酒店	取締役社長	高麗町192	同 左
7	春 山 ジャスティン	キ リ ス ト 教 (新 教)	日本基督教団鹿 地区	宣 教 師	上荒田町137	同 左
8	平 原 定一郎	商 業 銀 行	㈱鹿児島銀行武 町支店	支 店 長	武町429	坂元町 2261の17
9	外 西 寿 彦	産 婦 人 科 医	鹿児島市立病院	産婦人科部 長	加治屋町20 の17	宇宿町 1153の10
10I	岩 元 健 吉	シニア・アクティブ (製 綿)	カクイわた ㈱	取締役会長	郡元町927	郡元町1172
11	岩 元 正 二	綿 維 品 配 布	山形屋 商 事 ㈱	専務取締役	堀江町8	高麗町143
12	岩 元 基	綿 維 サ ー ビ ス	カクイわた 鹿基準寝具 ㈱	常務取締役	宇宿町 2505の1	新屋敷町1の7 公団住宅606号
13	岩 田 太 一	和 菓 子 製 造	佐明石屋菓子店	取締役社長	金生町3	西千石町129
14	池 田 広	放 射 線 科 医	池田放射線診療 所	医 師	上之園町28	同 左
15	池 田 稔	食 品 加 工	池 田 製 菓 ㈱	専務取締役	上之園町38	同 左
16K	河 井 時 義	外 科 医	河井外科医院	院 長	高麗町183	同 左
17	川 村 洋	百 貨 店	㈱山形屋	常務取締役	金生町3の1	下荒田町 2247
18	川 路 清 高	医 学 教 育	鹿児島大学医学 部	教 授	城山町7の82	新照院町154

14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

	氏 名	職業分類	勤 務 先		自 宅
19 K	川 上 鉄太郎	ホテル(日本式)	城山観光(株)	常務取締役	新照院町95 原良町1315
20	久保政次	ゴム製品配布	(株)久保利商店	取締役社長	名山町1の4 大竜町4の16
21	久保田彦穂	文 芸	鹿児島女子短期大学	教 授	郡元町1333 長田町146
22	倉園清市	信用金庫	鹿児島相互信用金庫	専務理事	泉町2の3 下荒田町72
23	小山幸義	ホ テ ル	(株)鹿児島ホテル鶴鳴館	取締役社長	城山町5の30 同 左
24	小池鉄太郎	洋 画	鹿児島大学教育学部	教 授	上荒田町 1946 薬師町398
25	小園正人	硝子配布	(株)小園硝子商会	取締役社長	上荒田町696 吉野町9752
26 M	牧田健二	内 科 医	牧田医院	院 長	上本町2の5 同 左
27	増竹成紀	外国為替銀行	(株)三井銀行鹿支店	支 店 長	金生町5の1 薬師町32
28	光吉正昭	請 負 業	小牧建設(株)	常務取締役	西千石町 2の35 鴨池町471
29	森川盛満	ガレージ及びサービスステーション	(株)玉里自動車練習所	常務取締役	下伊敷町 292の7 原良町1450
30	三角桂次郎	石油配布	三角石油瓦斯(株)	専務取締役	名山町11の15 原良町1797
31 N	中村善治	セメント配布	(株)神田商店	専務取締役	住吉町1の3 薬師町1374
32	中山和春	鉄道車輛修理	国鉄鹿児島工場	工 場 長	上荒田町 800 郡元町24 唐湊国鉄宿舍
33	永田良司	書籍配布	(株)評価問題研究所	取締役社長	新屋敷町 3の11 同 左
34 O	岡元健一郎	病 院	鹿児島大学付属病院	院 長	城山町8の3 城山町7の13
35	岡山 栄	会 計 士	岡山公認会計士事務所	所 長	薬師町53 同 左
36	荻野貞二	団 体 保 険	安田生命鹿支社	支 社 長	山之口町 12の6 郡元町494
37 S	西郷隆永	電気器具配布	南九州コンバーター普及(株)	取締役社長	上之園町38 鴨池町507

21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

	氏 名	職業分類	勤 務 先			自 宅
38S	桜 美 四 郎	シニア・アクチブ (瓦斯供給)	桜ビルディング(株)	取締役社長	武町415	上之園町37
39	桜 美 義 明	雑 貨 配 布	桜 物 産 (株)	常務取締役	武町415	上之園町37
40	鮫 島 志 芽 太	バス・サービス (新聞発行)				上荒田町62
41	佐 伯 延 次 郎	シニア・アクチブ (短期大学)	鹿児島県立短期 大学	学 長	下伊敷町 104	清水町 11の19
42	柴 山 一 雄	歯 科 医	柴山歯科医院	院 長	山下町9の31	同 左
43	島 津 忠 丸	土 木 建 築	島津土木工業(株)	常務取締役	吉野町磯 9688	清水町 31の15
44	新 福 栄 規	自 然 科 学	鹿児島経済大学	教 授	下福元町 8850	玉里町3465
45	下 野 隆 三	近 海 々 運	(株)共進組	常務取締役	易居町 11の19	原良町3135
46	瀬 上 一 郎	長 期 金 融	福岡銀行鹿支店	支 店 長	千日町1の2	常盤町274の23 ときわマンション 8号
47	新 福 均	文 房 具 配 布	(株)しんぶく文具店	代表取締役	上ノ園町73	武町544
48T	高 井 敏 治	砂 糖 配 布	(株)高井商店	専務取締役	泉町13の20	加治屋町 5の21
49	高 田 光 義	機 械 配 布	南国殖産(株)	常務取締役	武町431 南国日本生命 ビル内	天保山町 88の3
50	高 綱 博 明	生 命 保 険	日本生命保険鹿 支社	支 社 長	武町431 南国日本生命 ビル内	上荒田町 2070の10
51	高 義 朗	絹 織 物 製 造	大島紬燃糸工業 (株)	副 社 長	鴨池町999	同 左
52	田 平 礼 章	整 形 外 科 医	田平整形外科病 院	副 院 長	加治屋町 16の5	加治屋町 11の17
53	竹之内 安 己	短 期 大 学	鹿児島短期大学	教 授	永吉町450	稲荷町 15の25
54	土 橋 英 夫	シニア・アクチブ (産婦人科医)	土 橋 病 院	院 長	西田町10	西田町12
55	土 谷 久 雄	経 済 学 教 育	鹿児島経済大学	学 長	下福元町 8850	鴨池町1026
56	塘 一 郎	工 業 教 育	鹿児島大学工学 部	学 部 長	鴨池町52	伊敷町1の2 伊敷宮門住宅 4号

	氏 名	職業分類	勤 務 先			自 宅
57	徳 田 基	公 証 人	鹿児島公証人役場	公 証 人	山下町 17の12	照国町 11の23
58W	若 松 新 一	澱 粉 製 造	鹿児島物産化工機	総務部長	宇宿町185	郡元町1389
59	渡 辺 匡	タクシー業	機 南 州	代表取締役	武町428	上竜尾町 40の3
60	若 松 宇治彦	私 立 学 校	鹿 児 島 高 校	校 長	薬師町383	原良町1529
61Y	米 倉 秀 雄	公 立 病 院	鹿児島市立病院	副 院 長	加治屋町 20の17	吉野町 9688
62	山 口 清 次	短 期 金 融	富士銀行鹿支店	支 店 長	金生町7の25	天保山町106



